

上北農業生産情報（水稻の適期刈取り）

平成29年9月13日
「攻めの農林水産業」推進上北地方本部

○登熟状況を見極めて適期に刈取りしよう！

○適期刈取りと適正な乾燥調製で良質米生産に努めよう！

1 生育状況

本年は出穂後の低温により、一部で、開花・受精に不順や遅れが生じ、不稔が発生していることから、登熟のバラツキが生じることも予想される。このため、刈取り時に青未熟粒や茶米等が混在し、刈取適期期間が短くなることも考えられることから、例年以上に穂（株）ごと、ほ場ごとの登熟状況を見極め、刈取適期を判断する。

2 出穂後の積算気温

出穂後の積算気温960℃到達予想日は、出穂が早かったほ場（7月31日出穂期）では9月19日頃、平均的なほ場（8月6日出穂期）は9月27日頃になると見込まれる。

「まっしぐら」の刈取適期の目安

出穂の早晩	出穂期				
	7月31日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日
適期の目安	7月31日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日
適期始(960℃到達日)	9月19日	9月25日	10月1日	10月8日	10月12日
適期終(1,200℃到達日)	10月3日	10月11日	10月19日	10月28日	—

※「つがるロマン」の適期終わりは1,150℃。「—」は10月末以降。

※十和田アメダス：9月11日まで本年値、以後平年値使用

3 刈取りの目安について

個々のほ場の刈取時期は、出穂の早晩や籾数の多少によって異なるので、以下の基準等から総合的に判断する。本年は出穂後の低温により、登熟にバラツキが生じることが予想されるため、例年以上にほ場ごとの登熟状況を見極めて判断する。

(1) 籾の黄化程度

ほ場全体の籾の90%が黄化した時期。

登熟が遅れている場合には70～80%程度黄化した時期。

(2) 枝梗の黄化程度

枝梗の2/3が黄化した時期。

(3) 籾水分

籾水分が25～26%程度まで減少した時期。

(4) 青未熟粒の混入割合

玄米中(1.9mm選別)に占める青未熟粒歩合(死米を含む重量比)が10%程度まで減少した時期。

4 その他

- (1) 適期刈取りに支障がないよう落水し、降雨に備え排水対策を徹底する。
- (2) 倒伏により品質の低下が予想される場合は、倒伏部分を別刈する。
- (3) 「良食味・高品質」米生産のため、乾燥調製は適正水分15%を遵守する。
- (4) 登熟ムラによる高水分粳や未熟な粳の混入が多い場合は、粳水分18%程度で一旦乾燥を中断し、最低5～6時間以上貯留してから仕上げ乾燥を行う二段乾燥など、水分ムラに配慮した乾燥に努める。
- (5) コンバイン等による農作業事故に十分注意する。

◎刈遅れは、「胴割米」や「茶米」等の発生を助長し、品質低下の要因となります!!

◎機械・施設の点検等の刈取準備を早めに行い、適期収穫と適正乾燥を徹底しましょう!!